

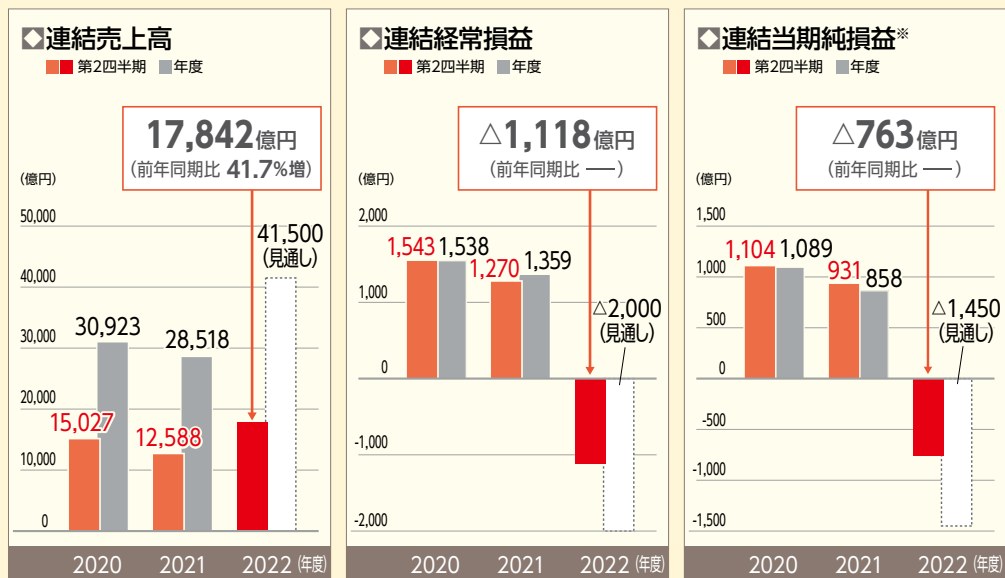
KANDEN REPORT

株主のみなさまには平素から格別のご高配を賜わり、厚く御礼を申し上げます。
ここに、第99期の中間報告書をお届けいたします。

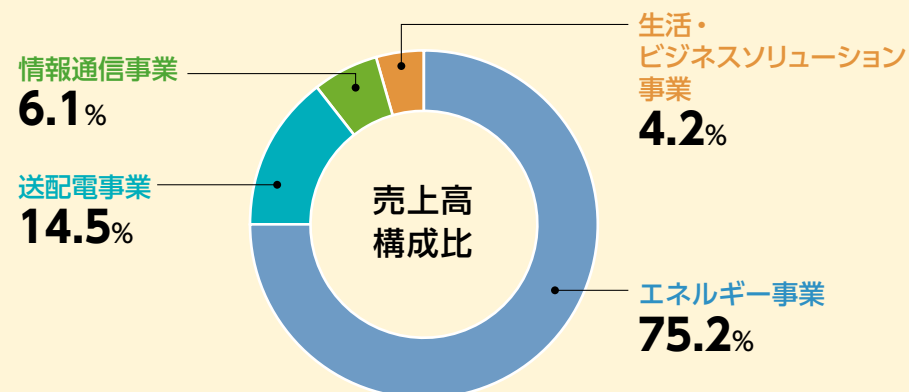
Financial Highlights (2022年度 第2四半期)

- ✓ 電灯電力料収入の増加により売上高は増加。徹底した経営効率化に努めたものの、円安・燃料価格高騰や原子力利用率低下などによる費用増を賄いきれず、減益の赤字決算に。
- ✓ 通期の見通しにおいても増収・減益の赤字決算となる厳しい見通し。
- ✓ 2022年度の中間配当は、安定配当の方針に基づき1株25円を維持。

※親会社株主に帰属する当期（四半期）純損益を指します。



セグメント別業績 (売上高)



⚡ エネルギー事業

13,424億円 45.2%増
(前年同期比 +4,180億円)

小売の需要数の増加や燃料費調整額の増加などにより電灯電力料収入が増加したことなどから、前年同期にくらべて4,180億円の増収となりました。

送配電事業

2,579億円 57.9%増
(前年同期比 +946億円)

燃料価格高騰などにより需給調整取引の増加に係る収益の増加があったことなどから、前年同期にくらべて946億円の増収となりました。

📱 情報通信事業

1,081億円 4.6%増
(前年同期比 +47億円)

eo電気において燃料費調整額が増加したことなどから、前年同期にくらべて47億円の増収となりました。

🏠 生活・ビジネスソリューション事業

755億円 11.6%増
(前年同期比 +78億円)

住宅分譲事業における分譲引渡戸数が増加したことや平均販売単価が上昇したことなどから、前年同期にくらべて78億円の増収となりました。

■決算等に関する詳細情報は、当社ウェブサイトにてご確認ください。>>

1月

2月

3月

4月

5月

2月1日 情報通信事業

[詳しく見る](#)

eo 光ネット 10 ギガ／5 ギガコースの月額基本料金の値下げ

中核会社の(株)オプテージは、高速で安定した通信へのニーズにお応えし、より多くのお客さまに選び続けていただけるよう、「eo 光ネット 10 ギガ／5 ギガコース」の月額基本料金の値下げを実施しました。「eo 光ネット 10 ギガ／5 ギガコース」について、「高速・安定性なら eo」を目指して取り組んでおり、2022年1月時点で提供エリアは関西最大*です。(株)オプテージは今後も、お客さまの生活をより快適・便利にするサービスをおトクに提供することで、お客さまの豊かな暮らしを支えてまいります。

※(株)オプテージ調べ



2月1日 エネルギー事業

[詳しく見る](#)

福岡県苅田町におけるバイオマス専焼発電所の営業運転開始

グループ会社のバイオパワー苅田合同会社は、福岡県京都郡苅田町において、木質ペレット等を燃料とするバイオマス専焼発電所である「かんだ発電所」(発電出力約7.5万kW)の営業運転を開始しました。当社グループにおいて、初の関西エリア以外でのバイオマス専焼発電所となります。年間発電量は約5億kWhであり、これは一般家庭に換算して約16万世帯分*の使用量に相当します。

※当社従量電灯Aの平均的なモデルの使用量を260kWh/月として算定。



かんだ発電所

3月25日 エネルギー事業

[詳しく見る](#)

「関西電力グループ ゼロカーボンロードマップ」の策定

当社グループは、発電事業をはじめとする事業活動に伴うCO₂排出を2050年までに全体としてゼロとすることを掲げた「ゼロカーボンビジョン2050」を2021年2月に定め、グループの総力を結集して取り組んでいます。本年3月には、このビジョンを実現するための道筋を定めた「ゼロカーボンロードマップ」を策定しました。ロードマップには、2050年に向けた取組みを着実に進捗させるべく、2030年度を中間地点と位置づけ、その時点で達成すべき削減目標を掲げています。当社グループは、今後もあらゆるステークホルダーのみなさまと力を合わせて社会全体のゼロカーボン化に向けた取組みを進めてまいります。



4月4日 エネルギー事業

[詳しく見る](#)英国洋上風力発電事業の商業運転開始
～トライトンノール洋上風力発電事業～

英国東岸の北海沖に位置するトライトンノール洋上風力発電所(風車90基、発電出力約85.7万kW)が、当社が参画している洋上風力発電事業として初めて商業運転を開始しました。本件は、2018年に当社が日本の電力会社として初めて参画した海外の洋上風力発電事業であり、洋上風力発電所としては世界最大級の規模となります。当社が参画する稼働中の海外再生可能エネルギー発電事業は、2022年10月時点で本件を含めて7件、持分容量は合計で約94.8万kWです。



トライトンノール洋上風力発電所

5月26日 生活・ビジネスソリューション事業

[詳しく見る](#)関西初 全邸オール電化・ZEH仕様のコンセプトタウン
「SMART ECO TOWN 星田」始動

中核会社の関電不動産開発(株)は、JR学研都市線星田駅(大阪府交野市)に接する「星田駅北土地区画整理事業」エリア内において、関西初となる全邸オール電化・ZEH仕様の「SMART ECO TOWN 星田」(戸建開発計194戸、マンション2棟:総戸数382戸)の複合開発に着手しました。

関電不動産開発(株)は、ゼロカーボン社会の実現を目指し、高い省エネ性能と創エネ設備を備えた「オール電化住宅」で「ゼロカーボンタウン」の創出に取り組んでいます。



「SMART ECO TOWN 星田」開発予定地

6月

7月

8月

9月

7月4日

生活・ビジネスソリューション事業

[詳しく見る](#)

バナメイエビの陸上養殖プラントの操業開始

当社とIMTエンジニアリングとの共同出資で設立した海幸ゆきのや合同会社は、静岡県磐田市にてバナメイエビの陸上養殖プラントの操業を開始しました。本プラントは、完全閉鎖循環式の陸上養殖方式を採用しており、海洋汚染をはじめとする環境負荷低減や、世界的な魚介類需要の高まりへの対応、海洋資源の確保などSDGsの観点からも、社会課題の解決に寄与するものです。当社グループは、イノベーションの推進を通じて、農業・食料領域を含む非エネルギー分野における社会課題の解決に貢献してまいります。



販売ブランド名：幸えび

7月25日

送配電事業

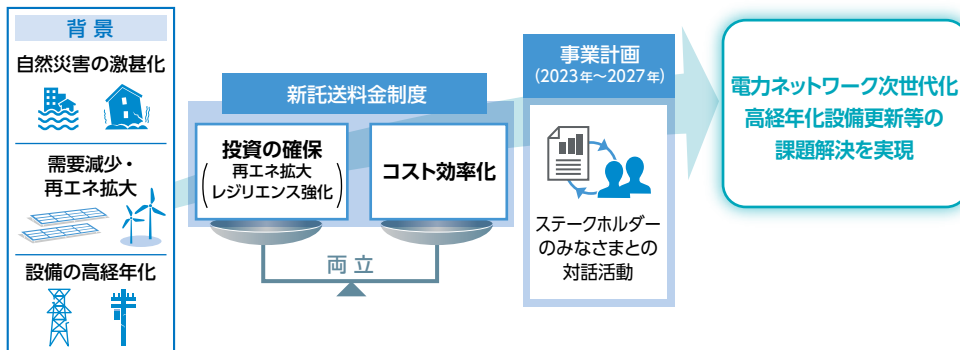
[詳しく見る](#)

新たな託送料金制度の導入に伴う収入の見通し等の提出

関西電力送配電㈱は、2023年度から導入される「新託送料金制度」に向け、2023～27年度に達成すべき目標を明確にした事業計画を策定するとともに、その実施に必要な見積費用を算定し、収入の見通しとして経済産業省に提出しました。

事業計画では、再生可能エネルギーの導入拡大やレジリエンス強化等の課題解決に向け、ステークホルダーのみなさまのニーズも踏まえ、具体的な目標・取組みを設定しました。

本取組みの着実な実施を通じて、安全・安定供給の確保はもとより、電力ネットワークの次世代化、お客さまサービス・業務品質の向上、最大限のコスト効率化を実現してまいります。



7月28日・8月10日

エネルギー事業

[美浜発電所3号機](#)[詳しく見る](#)[大飯発電所4号機](#)[詳しく見る](#)

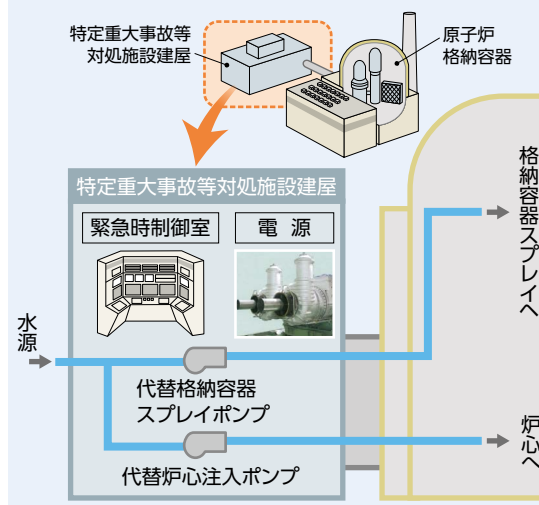
美浜発電所3号機、大飯発電所4号機の特定重大事故等対処施設の運用開始

高浜発電所3、4号機に続き、美浜発電所3号機および大飯発電所4号機の特定重大事故等対処施設（以下、特重施設）の運用を開始しました。

特重施設は、発電用原子炉施設のさらなる安全性向上のために必要なものであり、現在工事を実施している大飯発電所3号機、高浜発電所1、2号機についても、早期の完成を目指して、安全最優先に取り組んでまいります。

今後も引き続き、規制の枠組みに留まることなく、原子力発電の自主的かつ継続的な安全性向上対策を進めてまいります。

■特定重大事故等対処施設のイメージ



8月15日

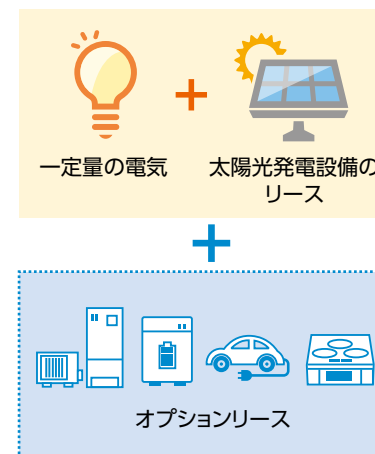
エネルギー事業

[詳しく見る](#)

“電気”と“太陽光発電設備のリース”をパッケージにした新サービス開始の発表

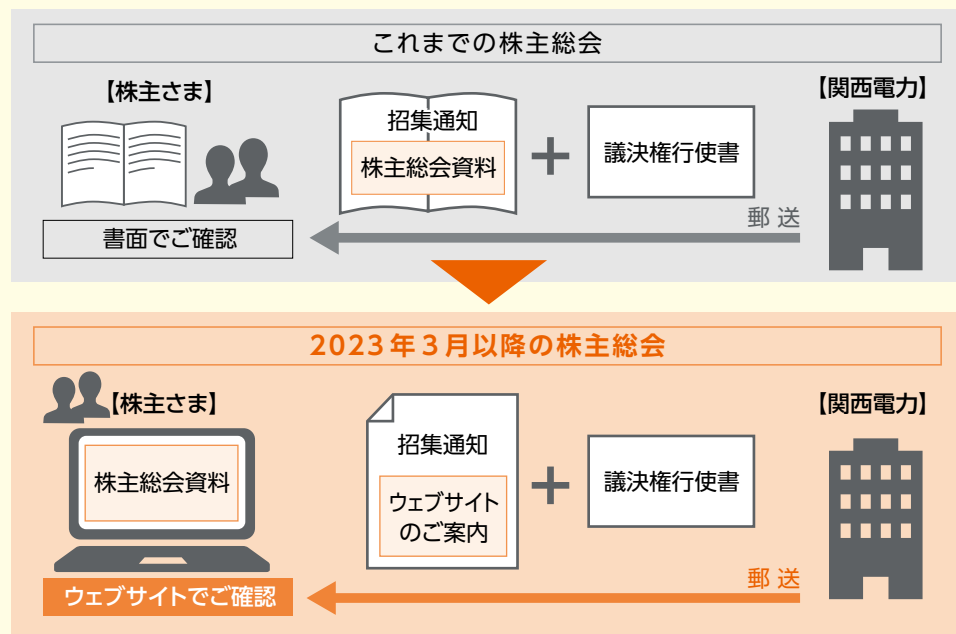
新築戸建住宅を建築・購入するお客さまを対象に、『一定量の電気』と『太陽光発電設備のリース』をセットにした新サービスを本年10月から開始することを発表しました。再生可能エネルギーをおトクに活用し、光熱費を抑えることができるほか、災害などによる万が一の停電対策として住まいのレジリエンス向上も期待できます。

今後も、新たなライフスタイルや、ゼロカーボン化、レジリエンス向上等の多様化するお客さまニーズに寄り添い、新たな価値をご提供してまいります。



「株主総会資料の電子提供制度」に関するご案内

2023年3月以降の株主総会から、株主総会資料は原則ウェブサイト上で、
ご確認いただくことになります。



■インターネットのご利用が困難な場合等、株主総会資料を書面で受領されたい株主さまは、書面交付請求のお手続きをお取りいただくことができます。
詳細は、お取引の証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社（株主名簿管理人）までお問い合わせください。

■なお、2023年6月の定時株主総会において、株主総会資料を書面で受領されたい場合、
議決権行使基準日（2023年3月31日）までにお手続きをいただく必要がございます。

電子提供制度に関する
お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電子提供制度専用ダイヤル
☎ 0120-696-505

（受付時間：土・日・祝日を除く平日 9:00～17:00）
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>

配当金を「配当金領収証」でお受取りの株主のみなさまへ
「配当金の口座受取り」に関するご案内

■あらかじめ指定した銀行や証券会社の口座で配当金を受け取る方法をご案内申し上げます。
支払開始日に迅速かつ安全、確実ににお受取りいただけますので、ぜひご検討いただきますよう、
お願いいたします。

■お受取り方法について

受取口座	メリット	受取方式
銀行口座での お受取りを希望される方	全ての銘柄の配当金を1つの口座でまとめて 管理することが可能	登録配当金 受領口座方式
	銘柄ごとに配当金の受取口座を 選択することが可能	個別銘柄 指定方式
証券会社の口座での お受取りを希望される方	配当金とご所有株式を証券会社の口座で まとめて管理することが可能	株式数比例 配分方式*

※複数の証券会社で株式をご所有の場合は、それぞれの証券会社の口座に配当金が振り込まれます。
また、ご所有の株式の一部が特別口座で管理されている場合は、この方式は選択できません。

お手続き
お問い合わせ先

証券会社の口座で株式を管理されている株主さま

➡ お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま（特別口座管理の株主さま）

➡ 以下の株主名簿管理人までお問い合わせください。

株主メモ

■事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

■定時株主総会 6月

■基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
（その他必要があるときは、あらかじめ公告します。）

■公告方法 公告掲載URL <https://www.kepcoco.jp/>
（ただし、事故等やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、
大阪市において発行される朝日新聞、毎日新聞に掲載して行います。）

■株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
特別口座管理機関 （同連絡先） 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777

株式に関するお手続きのお問い合わせ先

証券口座にて株式を
管理されている株主さま

お取引先の証券会社

証券会社との
お取引がない株主さま

三菱UFJ信託銀行
大阪証券代行部

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

前回のアンケートにおける株主さまの声を生かした取組みをご紹介します。
今後も、当社ウェブサイトや株主通信等を通じ、タイムリーな情報発信に努めるとともに、株主さまにとって分かりやすく利用しやすいサイトを目指し、構成や掲載内容の充実を図ってまいります。

前回のアンケート結果を踏まえた取組み

当社ウェブサイトの株主さま向けページが より使いやすくなりました！

知りたい情報を見つけるまでに時間がかかる株主さまが多くいたことを踏まえ、株主さま向けページのタイトルを「IR情報」から「株主・投資家のみなさまへ」に改めるとともに、知りたい情報がすぐに見つけられるよう、構成やレイアウトを見直しました。



「株主・投資家のみなさまへ」トップページはこちら

株主通信が、スマートフォンでも 閲覧いただきやすくなりました！

株主通信をスマートフォンで閲覧される株主さまが多くいたことを踏まえ、パソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも手軽に閲覧できるよう、デジタルブックを用いて制作しました。



スマートフォン・タブレットの場合、縦向きでは1ページを大きく、横向きでは2ページを見開きでお好みに合わせて閲覧いただけます

■前回のアンケート結果はこちら>>



株主さまアンケートにご協力をお願いします！

株主のみなさまからの貴重なご意見・ご要望を今後の株主さま向け活動等の参考とさせていただくため、株主さまアンケートを実施いたします。(所要時間：5分程度)
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケートご回答の締め切り

**2022年
12月23日(金) 18:00**

※QUOカード当せんは、発送をもってかえさせていただきます。
(発送は2023年1月下旬頃を予定しております。)
※アンケート回答にかかる通信料は、株主さまのご負担となります。

アンケートに
回答する

ご回答いただいた株主さまの中から
抽せんで100名さまに黒部ダムをデザインした
当社オリジナルQUOカード500円分を進呈します！



※画像はイメージです。
実際のQUOカードとはデザイン・仕様が一部異なる
場合がございます。

黒部川第四発電所について

2023年に60周年を迎える黒部川第四発電所(通称：くろよん)は、戦後の当社の社運と、関西地域一帯の命運をかけて建設した水力発電所です。
建設は困難を極めましたが、先人の強い精神力と高い技術力のもと、513億円の費用と延べ1,000万人の労働力を投入し、7年の歳月をかけて完成しました。

「くろよん」についてもっと知りたい方はこちら

黒部ダムの観光オフィシャルサイトはこちら